

前記ノ如ク現實同盟派ノ提案ニ依リ比較的速ニ爭議
解決スルモノト考ヘ居タルニ爭議同側ノ結果意外ニ
強固ニシテ到底現實派ハ爭議同側ノ對抗ニ得ナレシ
知リ一層沿線其他各変電所等ノ警備ヲ嚴重ニシ一方
從業員ノ輕禁ヲ戒ムル為メ各英ノ家庭ニ茶一回ノ注
ぎ書ヲ配布シテ形勢ヲ觀望シ居レルガ目下爭議同側
於テモ平常通り勤務ニ居リ何等急率運転上ノ支障ニ
感ズル
由其後爭議同側ノ配布セル宣傳ビラ別添ノ如シ
迄及ビハ一級様也

別記

- 戒書、運轉ノ
- 沿線改善ヲ
- 切ノ旨トシ内務
- 類ノノス
- ハ労働組合
- ニ職首者ヲ
- ニ出勤停止
- ニ手切手切
- ニ被服貸出
- ニ車庫
- ニ信手手切
- ニ水

王子電氣

王子電車從業員爭議に關して
再び沿線住民諸君に訴ふ

私等王電從業員は沿線住民諸君が常に王子電氣會社當局に要求して居られる事項を直接運轉に従事し且つ御客様に接する關係上よく知つて居ります。私等は御客様方の毎日電車に乗つて頂く事によつてのみ生活が出来るのです。會社當局者も亦同様御客様よりの電車収入によつて利益を得て居るのです。従つて日常に御客に接し氣持ちよく御送迎するには御客様の希望や要求を親切に御受けし、その希望や要求を一日も早く實現することに依つてのみ乘客諸君に御満足を與へ、私達も亦御客様の多數が電車に乗つて頂く事によつて生活が安定するものと深く考へ毎日朝早くから夜は晩くまで一生懸命に働いて居つたのです。然るに會社は、通機關の社會的使命や公共事業の本質を全然没却して今日尙少しも顧みないのです。毎期の決算報告には一割二分以上の配當を行ひ重役共は數萬圓の實與を懐中に捻じ込んで御客様の不便や、危険防止設備なんか、全然どこを風が吹くと云ふ状態へ一向改善の片鱗すら見せないのです、その証據には今回

舊式のボロ電車でも降ると直ぐ漏電する、危険極まる單車を一日も早く廢止して、現在車庫に格納してあるボギー車を運轉して下さい。こんな當然過ぎる程當然の嘆願を拒絶したのです。更にこんな嘆願をすることは會社のボロ儲けを社會に發表される事になる。御客の大切な生命より重役共の利益が先決だ、云々と公然と放言して居ります。そんな事を云ふ從業員は更に全部でも職首して終ふと脅迫して居ります。そうして最初にこの問題を嘆願に行つたのですが拾六名の代表者のもの、職首は何んと云つても取消さないのです。それでいやなら電車を止めよう何にしようかと勝手だ、三日や四日電車が止つたつてそんな事はかまはない重役達には自動車がある」云々と放言して居ります。

會社は更に一増暴利を貪る爲め來る十二月十七日の株主總會で王子電車會社と東京電力會社との合併問題が出るらしいのです。東力係會社の重役はその際自分等の手に安く王子電鐵の株を買収する一つの手段として殊更に

なんであります。従つて會社はこの爭議には毎日不用の夫人や從業員を三百名も會社に雇入れ一日二圓つゝの給料を支拂ひプラ／＼會社の二階に遊ばせて置くのです。一日千圓かゝつたつて一ヶ月三萬圓だ、王電は二十八萬株ある一株に就き一圓株價が下落しても二十八萬圓買収價格が安くなる」云々と、一部の重役は放言して居ります。爭議が長びき沿線住民や御客様が如何に不安を感じ迷惑しようとする事には問題ではない、電車が轉覆して御客の生命がどうならうともそんな事は問題ではないと放言して居ります。私等は飽くまで御客の御迷惑を恐れて自重して居りますが、この會社の重役共の利権漁りの道具に天下の公器に等しい交通機關が利用されるに至つては最早や默止する事は出来ません。事ここに至つては私達從業員が直接労働しなかつた場合、會社の利益はどこから出るかと云ふ、最後の力をこの會社の強慾一点張り重役共に見せ付ける必要に急々迫られました。然し乍ら私等は飽くまで御迷惑を避けるため最後の力を示す場合は一應前以て御知らせ致しま